

# ごあいさつ



会 長 河村 正雄



理事長 高橋 知史

皆さま方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当金庫に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度の日本経済は自然災害による一時的な落ち込みが見られたものの、好調なインバウンド消費や堅調な輸出により、雇用環境も改善し緩やかな景気回復が見られました。

地元大阪では今秋に開催される「ラグビーワールドカップ2019」のほか、2025年の「大阪・関西万博」の決定など明るい話題も多く、今後の地域経済の発展、活性化に大いに期待が寄せられます。

一方、中小企業をとりまく環境は、原材料費や仕入価格の高騰、さらに人口減少に伴う人手不足や事業承継問題など、構造的な課題を抱えていることから、生産性向上のための経営支援、創業から事業承継までの幅広いサポートなど、官民一体となった取り組みが求められています。

金融面では、日本銀行の金融緩和政策の長期化で貸出金の金利競争が激化し、多様化するニーズに対応した金融サービスの提供が求められています。また、近年のAI・IoT活用による急速な業務のデジタル化の進展、加速するキャッシュレス社会への対応、さらには異業種からの金融業参入など、ここに来て金融業務の枠組みの急速な大変革時代を迎えています。

そのような中、当金庫は堅実健全経営に徹するとともに、お客さまの「課題解決No.1金庫」の実現に向けて、事業承継支援センターの創設をはじめとするコンサルタント業務の拡充に努めました。さらに、スマートフォンを使った口座照会アプリの提供、キャッシュレス化の進展に合わせた株式会社Origamiとの業務提携など、多様なニーズに応える利便性の高い金融サービスの充実、向上を図りました。あわせて、お客さま保護に向けた特殊詐欺未然防止の取り組みやサイバーセキュリティ対策、マネー・ローンダリング対策の強化など、内部管理態勢をより一層強固なものとししました。

その結果、平成30年度決算も前年に引き続き安定した業績を確保し、健全性を維持しています。

令和元年度は、中期経営計画の最終年度であり、本計画で目指すお客さまの「課題解決No.1金庫」の実現に向けて、「業務効率化による生産性の向上」「利便性の高い金融サービスの開発」「全職員のコンサルティング能力向上に資する施策の実施」「信頼を確保する強固な内部管理態勢の構築」の4点を基本方針に掲げ、役職員一体となって業務に取り組み、地域金融機関としての使命を果たしてまいり所存でございます。

本冊子は、大阪シティ信用金庫の経営方針や経営の現状について、できるだけわかりやすくお示したものです。何とぞご高覧のうえ、当金庫に対するご理解を深めていただき、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

令和元年7月

会 長 河村 正雄

理 事 長 高橋 知史